

# 恋文すぽっと きみまち

6月号



開館時間：9：00～17：00

日曜休館日

Instagram

「恋文すぽっときみまち」  
☎0185-88-8407

「恋文すぽっと きみまち」はニツ井商工会が地域の皆様にいこいの場として利用して頂く為に設けた施設です。



田代潟に伝わる

## 「藤子悲恋物語」



### 薄命の美女「藤子悲恋物語」

能代市ニツ井の田代という集落があり、秋田杉の里を代表する杉美林に囲まれた土地である。水沢スギ参考林と並び、田代潟の沢国有林の見事な秋田杉が伝説の湖・美しい田代潟を囲んでいる。この神秘的な湖は、藤子悲恋物語の伝わる伝説の湖である。

江戸時代の紀行文作家・菅江真澄が阿仁からこの地を訪れ美しさに感動し、画家でもあった真澄は当時の湖を細かく色鮮やかに描かれており、その美しさは今も変わらない。田代潟と呼ばれる湖がある。

昔、山本郡森岳の山口に池内角左衛門という長者がいた。この家には藤子、竜子という仲の良いふたりの若い女中が使われていた。藤子は機織（東能代駅前付近）の生まれで色白で人並み優れた美人。竜子は鷹巣村の出身で、たいそう気立てのやさしい娘であった。

近郷近在の若者は藤子に言い寄るものの、藤子はそれをうけながし、脇目もふらず働く娘であった。ところが、そのうち一日の仕事が終わり夕食の後片付けがすむと、決まって毎晩のように屋敷から姿を消すようになった。それでも、翌朝になると早くから起きて変わりなく働いているので、どこに何をしに行くのか誰も知るものはいなかった。このことが若者たちの噂になり、若者2、3人が藤子の後をつけた。藤子は足が速く若者たちはまたたく間に藤子の姿を見失った。こうしたことが2、3度続けられた。藤子は白津山山麓にある田代潟まできて、ここで汗をふき着物の崩れや髪のを直し、女らしい身支度をととのえるのだった。

白津山の山頂には正法院という寺があった。そこに、一人の若い美男の修験者がいた。藤子はこの修験者に恋をしていた。しかし、この修験者は道心堅固な行者であったので、毎夜通ってくる藤子のささやきにも耳をかたむけようとしなかった。

ある夜のこと、かたくなな男心に恋も叶わぬものと世をはかなんで、湖底に身を沈めてしまった。それから間もなく、主家に帰らぬ藤子について噂が若者に広がった。「藤子は白津山の正法院の若い僧と夜ごとの逢瀬を楽しんで家へ帰るのを忘れたのだ」これを聞いた竜子は、藤子の身を心配して主人の許しを得て白津山の正法院を訪れ、若い修験者から藤子が自殺をしたことを聞き、主家に帰ってから一部始終を主人に話した所、主人は藤子を哀れに思い、湖畔に弁財天をご神体とする白藤神社を建立して藤子の霊を慰めてやった。

白津山正法院 Wikipedia 辞書・GURURI ふたつより一部抜粋





# 味の店 南部屋



能代市二ツ井町字三千苅 60-20  
TEL 090-2972-3952  
■営業時間 11:00~22:00  
■定休日 不定休

## 郷土の旬を味わえるお店

### たけのこフルコース (収穫時期のみ)

←左写真

- たけのこの漬物 (左下)
  - たけのこ煮つけ (左中)
  - たけのこ素焼き (真ん中)
  - たけのこグラタン (右中)
  - たけのこのかき揚げ (奥真ん中)
- ※写真にはわらびとミズがついてます。



### 晩酌セット (オススメ)

得



店主手作りプリンは、くせになる優しい味わい  
パリッと焼かれた餃子は、ビールがすすむ一品



人気 NO.1

ランチ人気メニュー

「ヒレバター定食」

←左写真

選べる飲み物 2杯

(生ビール・焼酎・サワー・ハイボール・お酒)

お刺身+季節のお料理 = 3品付き

### 6月二ツ井図書館移動文庫

※恋文すぽっときみまちで借りられます

- ・あなたは、老後誰と、どこで暮らしますか (佐藤慶女)
- ・いまこそ知りたい日本の思想家 25 人 (小川仁志)
- ・嘘と人形 (岩井志麻子)
- ・うらやましい死にかた (五木寛之)
- ・老い方の上手な人下手な人 (樋口恵子)
- ・老いかたレッスン (渡辺淳一)
- ・おかげさまで生きる (矢作直樹)
- ・臆病な医者 (南木佳士)
- ・辛口サイショーの人生案内 DX (最相葉月)
- ・くじけないで (柴田トヨ)
- ・決断を支えた一冊 (日本経済新聞)
- ・孤独を生きる言葉 (松浦弥太郎)
- ・作家のおやつ (コロナブックス編集部)
- ・潮待ちの宿 (伊東潤)
- ・四十七人の刺客 (池宮彰一郎)
- ・十七字の戦争 (田村義彦)
- ・双頭の船 (池澤夏樹)
- ・田辺聖子の万葉散歩 (田辺聖子)
- ・魂でもいいから、そばにいて (奥野修司)
- ・つまをめとらば (青山文平)
- ・鼠、夜に賭ける (赤川次郎)
- ・ハッピー・リタイアメント (浅田次郎)
- ・母住井すゑ (増田れい子)
- ・+1cm (キム・ウンジュ)
- ・本をつんだ小舟 (宮本輝)
- ・マインド・コントロールの恐怖 (ステューブ・ハッサン)
- ・息子たちと私 (石原慎太郎)
- ・65歳で人生を変える (本岡類)
- ・別れを癒す 365日のことば (マーサ・ヒックマン)

